卵太郎

ざらめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

卵太郎

【コード】

N96420

【作者名】

ざらめ

【あらすじ】

雄鶏が産んだ卵には、呪いがかかっていました。

昔、ある所に、夫婦がいました。夫婦には、子供がいませんでした。一匹の、雄鶏を飼っているだけでした。

ところがある日、その雄鶏が、卵を産んだのです。普通のものより少し小さくて、かわいらしい卵でした。夫婦は、卵をあたたためてみる事にしました。

そしてある日、卵にヒビが入ったと思うと、中から、元気な男の子が出てきました。夫婦はその男の子を、卵太郎と名付けました。

卵太郎は、どんどん賢くなりました。しかし、背は伸びなかったのです。卵から出てきた時と、全く同じ、身長、体重のまま、卵太郎は、10歳になりました。

その頃、近所にたちの悪い悪ガキがいました。小さい子供をいじめたり、お年寄りに暴言をはいたり、やりたい放題でした。卵太郎はその悪ガキ達を、こらしめてやろうと思いました。そして、落とし穴を掘る事にしました。悪ガキが出られないような、広くて深い落とし穴を。しかし、それはとても大変な事でした。何せ、卵太郎の身長は、卵程もないのですから。でも、卵太郎は頑張りました。掘り始めてから10日たった日の夕方、とうとう卵太郎は、落とし穴を完成させました。広くて、深くて、端から見たら落とし穴だなんて誰も思わない様な落とし穴を。そして仕上げに、金貨を落とし穴の上に置きました。釣りでいう餌です。卵太郎は、近くの茂みで、悪ガキ達を待つ事にしました。

次の日、悪ガキ達が落とし穴の近くを通りかかりました。そして、卵太郎の計画どおり、金貨を見つけて、駆け寄って来ました。そして……。

卵太郎は、悪ガキ達が落とし穴に落ちたのを確認すると、跳び上がって喜びました。そして、調子に乗った卵太郎は、もっと意地悪をしようと思いました。落とし穴に土を入れ始めたのです。卵太郎は

調子に乗っていたので、その作業は、すぐに終わりました。

「1日位何も食わなくても、生きてられるだろ。」

卯太郎はつぶやきました。しかしその時、卯太郎は忘れていたのです。人間は、空気がないと生きていられないという事を。

次の日、卯太郎が落とし穴を掘り返してみると、悪ガキ達は死んでいました。卯太郎は戸惑いましたが、死体をまた埋めてしまう事にしました。しかし、卯太郎が土を入れ終わった頃。

(ガシツ)

土まみれの何かが卯太郎の細い首根っこをつかみました。それは、人間の手でした。そして次の瞬間、もう卯太郎は地上にはいませんでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9642o/>

卯太郎

2010年11月24日19時26分発行